

資料1

高野台小学校H27年度校内研修「県学調分析」①

(以下のような形で進めていきたいと考えています。

当日説明していきますので、よろしくお願いします。)

◎県学習・学力状況調査分析 「ジグソー型」

○職員を大きく、3つのブロックに分けて分析していきます。

- 1 同じ分担どうし(下の表)で集まり、分析結果を話し合いながらまとめていく。 <エキスパート>
- 2 ブロックで再度集まり、分担ごとの分析結果を話し合う。
- 3 学校全体並びに自分の学年につながる課題をつかんでいく。
- 4 ブロックで「学校全体の課題」と「学年の課題」を明確にし、解決のための方策を考える。 <ジグソー>
- 5 各学年で発表し、課題と方策を全職員で共有する。 <クロストーク>
- 6 個人で、学んだことから「本校の課題」と「自分のクラスで実践できること」をまとめる。

	低ブロック	中ブロック	高ブロック
中1国・小6国	特別支援	養護	ベテラン
小6国・小5国	若手	教務主任	中堅
小5国・小4国	ベテラン	若手	教頭
中1算・小6算	校長	ベテラン	若手
小6算・小5算	ベテラン	中堅	若手
小5算・小4算	教科専科	中堅	若手

※1学期に先生方にご協力いただきました、算数のアンケートの調査結果もお配りします。

研修で得た物を、2学期からの授業改善にいかしていただければと思います。

資料2 (1)

◎課題と方策 2学期に向けた取組

国語		文法的な力の習得を目指した授業を心がける 国語タイムの有効的な活用（慣用句の紹介、辞典の使い方）をする。 東部教育事務所HP内の「学力向上ワークシート」を活用する。
1年	読書の習慣 主語述語を意識させる。(短文づくり) 5W1Hを意識させる。 習った言葉を入れた短文づくり。	
2年	漢字の意味・使い方 筆順だけでなく、短文作りをしながら指導する。 日記を書く。 同音異義語の紹介 文法 主語述語に留意して読んだり書いたりする。 朝の会で主語述語の整った文を発表。(30秒以上)	
3年	授業 主語、述語、修飾語、指示語を手掛かりに文章を丁寧に読み取る。 文章の構成を意識する授業を試みる。 国語タイム 文法をメインにした短文づくり、慣用句を紹介したりし、これを、家庭学習につなげて、広げていく。	
4年	国語タイムの活用（ローマ字、文法を重点） 主語述語に関しては普段の書く活動から意識させる。 読解スピードを上げるために読書タイムで目的を持たせて読書する。 慣用句は、家庭学習等で	
5年	文法（主語、述語、修飾語） →調べる習慣をつける。 同音異義語、指示語→読み取りの中で確認 慣用句→家庭学習で意欲的に取り組ませる。 文章構成→授業の中で繰り返し触れる。 活用しながら習得させる。	
6年	文法を常に意識した授業をする。 主語、述語、修飾語を明確にする活動を取り入れる。 同意異義語→国語辞典や漢字辞典を利用して、正確な使い方を調べる。 慣用句→放送で紹介したり、掲示したりする。一語で発表しないで、きちんとした文章で表現させる。 文章の読み取り→中心となる言語や文を捉える。 文章に書かれている話題や理由の根拠となっている。 内容→構成の仕方や巧みな叙述に着目できるような指導をする。	

資料2(2)

◎課題と方策 2学期に向けた取組

算数		算数タイムの有効的な活用をする。 東部教育事務所HP内の「学力向上ワークシート」を活用する。 練り上げの工夫・内容の生活化・活用力をつける。
1年	30マス100マスの計算、ドリル。 体験的操作活動(例、つみき、色板しきつめなど)。 生活、身近なものにつなげる。(かさ、長さなど)	
2年	量と測定 長さmm、cmの復習をしてから、mの指導に入る。 身の周りのものの長さの測定を充実させ、量感をつかえさせる。 数と計算 上学年の基礎となる、たし算、ひき算の筆算とかけ算九九の定着を図る。 (九九カードの暗唱、プリント、ドリル) 計算だけでなく、意味理解をしっかりとつかませる。そのために算数的活動を丁寧に扱う。	
3年	授業 練り上げの工夫・充実。 他者の考えの良さを理解し、その考えを活用する。 公式を作り出す。丁寧に一般化をはかる。 内容の生活化(授業・家庭学習)。 日常生活に近づけて、長期記憶(定期的に繰り返す)につなげる。 「予習—授業—復習・活用」のスタイルの確立 探求活動を通じた活用力	
4年	面積等の図形問題は、体験活動を増やす。 分数の単元を、プリントを使い復習する。 授業の中で友達の考えの利点を見つけて活用する。 練り上げの工夫。	
5年	およその高さ、面積→算数的活動を生かす場を設ける。 計算の工夫→まずは、しっかりと計算の手順を身に付ける練習をすること。 それが身に付いたら他の方法で図を活用し、整理する。 「図—式—言葉」の一体化	
6年	Mタイムを使ってのB問題等の活用問題に引き続き取り組んでいく。 算数的活動を通して、算数的な感覚を養っていく活動に力を入れる。 図形全般に弱い部分があるので、図形を正確に書く活動を行う。 およその面積をとらえさせるようにする。	